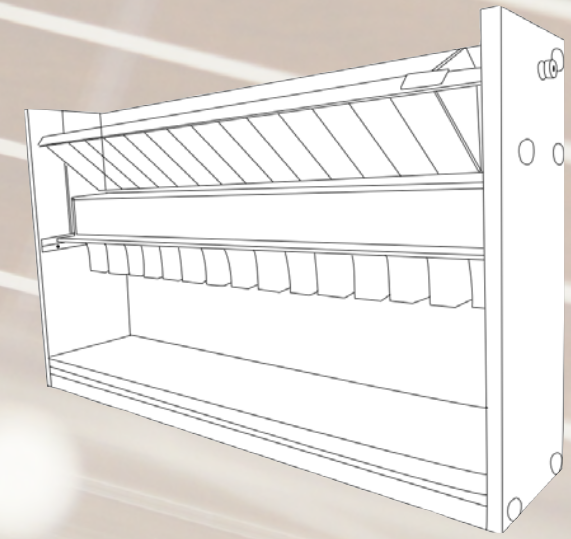




手動式生薬分包機
HC-003
製品マニュアル



本製品への思い

吟味した生薬から作る煎じ薬は効果が高く、漢方の醍醐味といえます。

しかし、提供する私達の手間がかかりすぎるために、ついつい敬遠しがちでした。

煎薬用自動分包機も販売されてはいるものの、まだまだ高価。また大型であり、小さな薬局では設置することができません。

本製品は漢方薬の煎じ薬を「より速く、より正確に」分包する機能をわずか幅62cm奥行き12cmのサイズに収め、卓上型を実現しました。

価格も既存品に比べて低価格を実現しています。

本製品が、煎じ薬を大切に継承されている諸先生方のお力になれましたら幸いです。



本製品の特徴と注意点

- ・煎じ薬や民間薬、健康茶などを同時に最大15包までVマスを用いて速く正確に分包できます。
- ・煎じ薬の製剤時間を大幅に削減出来ます。
- ・自動分包機やその他の既存品に比較してコンパクト/省スペース/低価格を実現しました。
- ・煎薬の分包に用いられているメジャーな薬袋のほとんどに対応しています。
- ・ヒートシーラーがいない「トキワ薬草パック」をワンタッチで装着・取り外し可能です。
- ・煎じ薬を作る際に使用されている「舟」を省略し、Vマスからダイレクトに薬袋に分包します。
- ・Vマスでの分割に向かない生薬（竜眼肉、大黄、附子など）は個別に分割し、薬袋に投入する必要があります。

製品マニュアル 目次

- P1 … 本製品の特徴と注意点/目次/お問い合わせ先
- P2 … 製品概要/ご使用前の準備
- P3 … 本体のセッティング方法/薬袋のセット方法
- P4 … 分包作業を始める前に/基本的な使い方
- P5 … カスタマイズ用ステッカーのご使用方法/お手入れ方法/困ったときは



手動式生薬分包機 HC-003

開発販売 株式会社 からさわ薬局

製作 総合アートセンター 株式会社 翠彩堂

【本製品に関するお問合せ先】

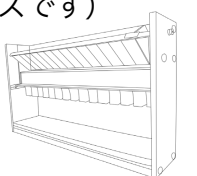
株式会社 からさわ薬局 担当 植木 啓公（うえき よしまさ）

からさわ薬局啓明店 札幌市中央区南13条西21丁目3-18 K2メディカル1階

☎ 011-520-3031 Mail : bumpohc003.karasawa@gmail.com （ご購入にあたりご案内さし上げたメールアドレスです）

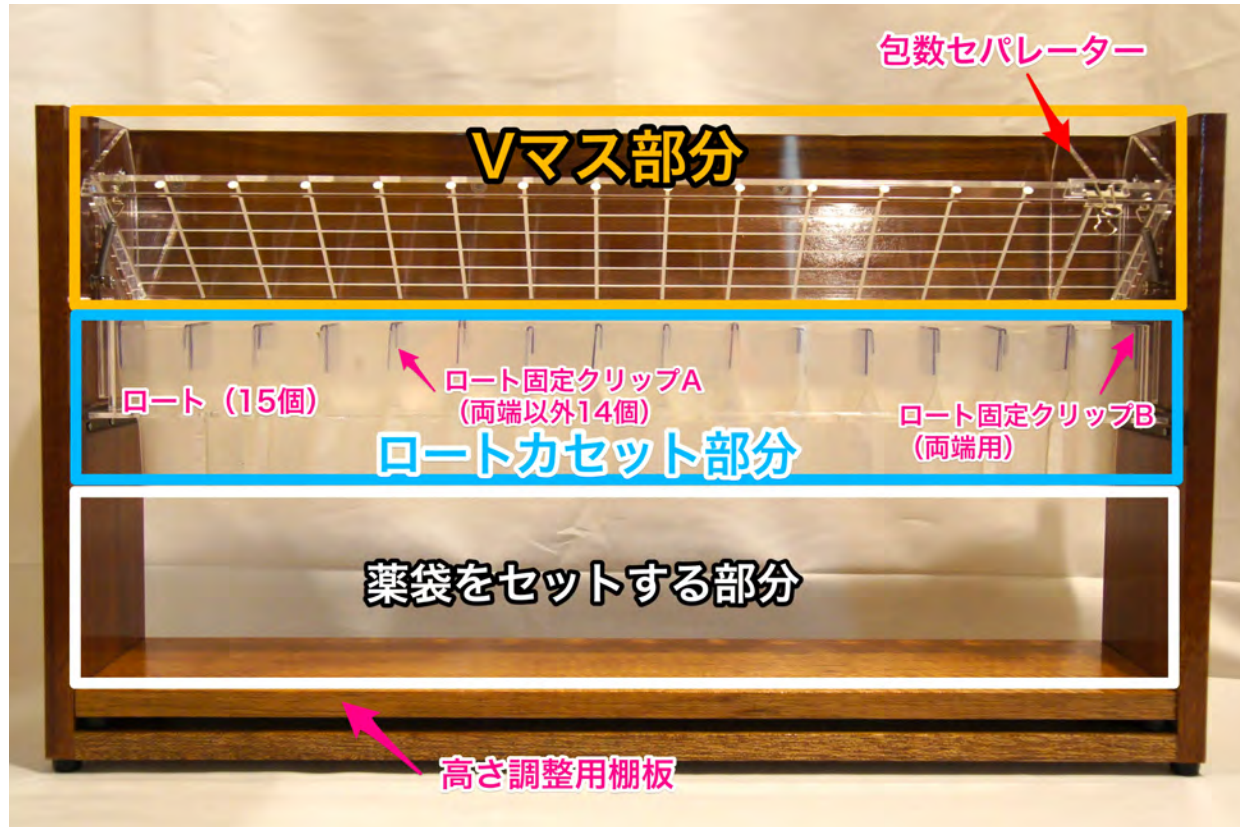
月火水金曜日/9:00~18:00 木曜日/9:00~12:30

出来るだけ早くご対応させていただきますが、対応が翌営業日になることもございます。ご了承下さい。



製品概要

手動式生薬分包機HC-003は、漢方生薬や民間薬などを手軽に分割分包できる卓上型のVマス式分包機です。Vマスからロート部を通り、薬袋に直接生薬を落として分包する構造になっています。



本体の構造は大きく次の3つでできています。

- ・上部「Vマス部分」
- ・中間「ロートカセット部分」 ※お客様自身での組み立てが必要です。
(ロート15個とそれを固定する枠組みと前面のスリットによるフック)
- ・ロートカセット下部の「薬袋をセットする部分」
Vマス部分に生薬を投入し、ロートカセット部分を通過して、薬袋に落ちます。

ご使用に際しては、このマニュアルに示した順に「主要部品と添付部品のご確認」「本体のセッティング」を必ず行ってください。

本体枠組み/高さ調整用棚板…木製 (ラワン集成材/シリコンニス塗装)
Vマス部分…アクリル樹脂
ロートカセット枠組み…アクリル樹脂
前面のスリット式薬袋フック…アクリル樹脂
ロート…熱可塑性樹脂
幅 620mm 奥行120mm 高さ 344mm

ご使用前の準備

【主要部品と添付部品をご確認下さい】

- 部品1. 本体 木部本体/Vマス・ロートカセット
- 部品2. 包数セパレーター/1個 (1包~14包を分割時に使用/15包のときは取り外します)
- 部品3. 包数セパレーター用クリップ/1個 (市販のクリップをご利用いただけます)
- 部品4. ロート/15個 (Vマスから薬袋まで生薬を誘導します)
- 部品5. ロート固定クリップA/16個 (14個+予備2個) (ロートを固定し隙間をふさぎます)
- 部品6. ロート固定クリップB/2個 (両端のロートを固定し隙間をふさぎます)
- 部品7. 高さ調整板/1枚 (各種薬袋に対応するための高さ調整用です)
- 部品8. カスタマイズ用ステッカー/白丸・赤丸・黒丸 数字シール (5・7・10)
(ご使用環境にあわせて、包数マークを目立たせるカスタマイズが可能です)
- その他 製品マニュアル (この冊子) /1冊
※分包作業に使用する「ヘラ」は本製品には含まれておりません。
散剤分包機等のヘラをご使用ください。

製品の出荷にあたり慎重に検品をしておりますが、万が一不足の部品がございましたら、恐れ入りますが前ページのご連絡先まで不足内容をお知らせくださいますようお願いいたします。急ぎ、不足部品をお送り差し上げます。輸送中の事故などによる破損が生じている場合も恐れ入りますが、同様にご連絡頂けますようお願いいたします。



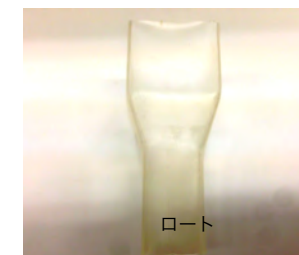
部品1



部品2



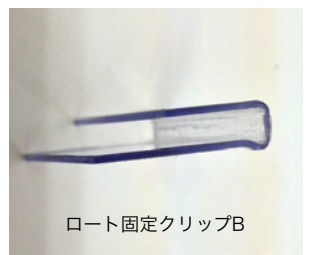
部品3



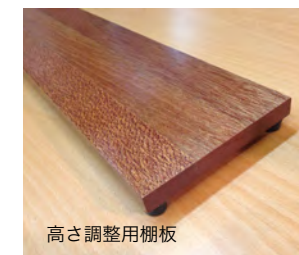
部品4



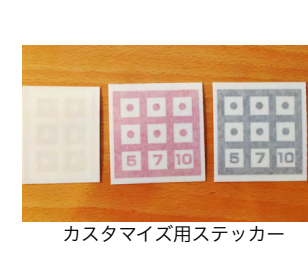
部品5



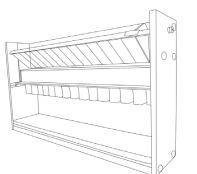
部品6



部品7

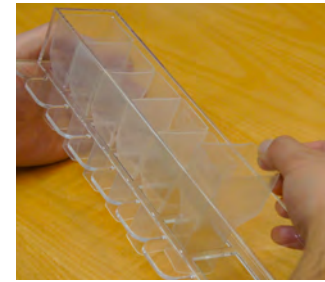


部品8



本体のセッティング方法

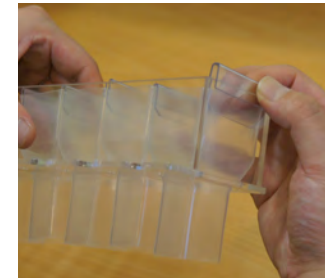
- 手順1. ロートカセットにロートを15個写真のようにセットしてください。
 ロートの材質上、若干の隙間が生じることがあります。並べる順序を変えると良い場合があります。
- 手順2. ロート固定クリップAを写真のようにセットして下さい。
- 手順3. ロート固定クリップBを写真のようにセットして下さい。
 ※偏らないように、全体を均等になるようにセットして下さい。
 ※無理に入れようとすると破損の原因となります。優しくお取り扱いください。
- 手順4. ロートカセットを、ホルダーに静かに差し込みます。
 ※無理に押し込むと両端用のクリップがVマスに干渉することがあります。
 ※包数セパレーターは必要に応じてVマスにセットしてクリップ（部品3）で固定して下さい。
 ※高さ調整板は、対応表（次ページ）を参考にし、薬袋に合わせて適切なポジションにセットして下さい。



手順1



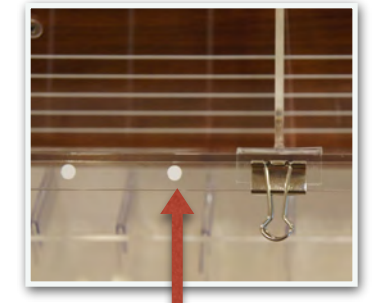
手順2



手順3



手順4



標準では包数カウントの目安位置に白丸のステッカーを貼っておりますが、添付のステッカーを使用してお好きな包数を目立たせることができます。
 詳しい方法は5ページ「カスタマイズ用ステッカーのご使用方法」をご参照ください。

薬袋のセット方法

薬袋をロート下部に差し込むことでVマスから落ちてきた生薬が薬袋に直接分包される構造になっています。
 ご使用になる薬袋のサイズに応じて、付属の棚板を本体下部にセットすることで、分包作業中の薬袋を安定させることができます。
 また、ロートカセット前面にある溝（スリット）は薬袋を固定する「フック」として機能します。
 下の表で（フック）と書かれた薬袋は薬袋をロート部にセットし溝に挟み込むことで固定します。

薬袋のサイズと棚板の使用目安

対応薬袋\棚板ポジション	棚板なし (P0)	棚板ポジション1 (P1)	棚板ポジション2 (P2)
・紙製薬袋 (高さ140mm 幅100mm)	×	○(自立)	△(自立)
・他サイズ紙製薬袋 (±10~15mm)	△(自立)	△(自立)	△(自立)
・サンピロン小サイズ (高さ130mm 幅90mm)	×	×	○(自立)
・サンピロン中サイズ (高さ150mm 幅100mm)	○(フック)	○(フック)	○(フック)
・サンピロン大サイズ (高さ160mm 幅120mm)	○(フック)	△(フック)	×
・トキワ薬草パックMサイズ	○(フック)	○(フック)	○(フック)
・トキワ薬草パックLサイズ	○(フック)	○(フック)	○(フック)
・ヒートロンペーパー6号(高さ120mm×幅80mm)	×	△(自立)	○(自立)
・ヒートロンペーパー7号(高さ130mm×幅90mm)	×	△(自立)	○(自立)
・ヒートロンペーパー8号(高さ140mm×幅100mm)	×	△(自立)	○(自立)
・ヒートロンペーパー9号(高さ150mm×幅120mm)	×	△(フック)	○(フック)
・ヒートロンペーパー10号(高さ180mm×幅150mm)	○(フック)	○(フック)	×



棚板をP2にセットし薬袋が自立している状態
(自立)



フックにサンピロンMをセットした状態
(フック)



棚板なし (P0)

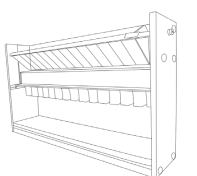


棚板ポジション1 (P1)



棚板ポジション2 (P2)

※ウチダ和漢薬様でお取扱いのある煎薬用薬袋ならびに大野商会の紙薬袋を元に開発をしております。



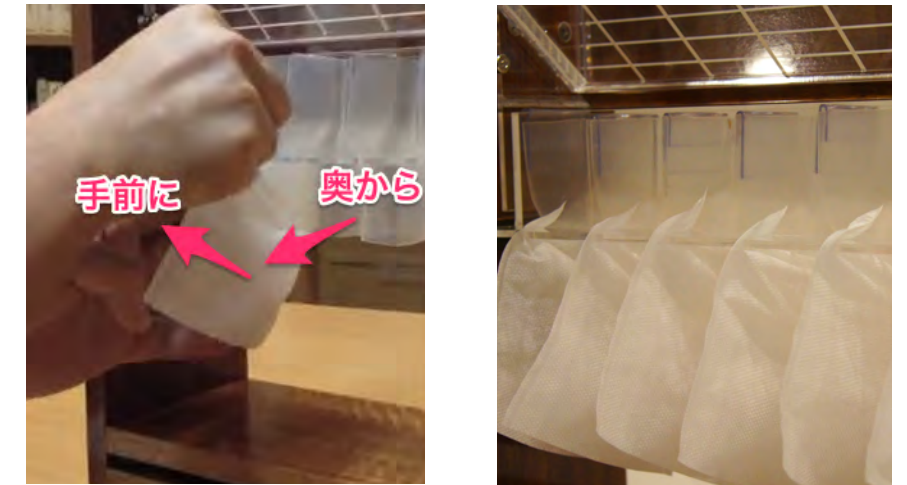
分包作業を始める前に

- ・ご使用前に、Vマス部分を留めているネジに緩みがないかご確認ください。
緩みがある場合、軽く締め付けて調整してください。Vマスがスムーズに作動する程度で結構です。
- ・Vマスを作動させて生薬を落とすとき、必ず両手で両端を支えて落としてください。
片手で作動した場合、Vマスが作動時に歪み、均一に分包されず、破損する場合があります。
- ・分包しはじめはなるべく薬袋をゆするなどして生薬が薬袋の底に落ちるようにしながら作業をしてください。
生薬の形状等により、分包作業中にロート部で生薬が詰まる場合がありますのでご注意ください。



薬袋をセットするときのコツ

- ・薬袋の内側をふくらませておきましょう。
底まで生薬が落ちやすく、詰まりにくくなります。
- ・フックを使用するときは、奥からロート下部に薬袋をさしこみ、手前のフック（溝）に薬袋の角をはさみます。
- ・さしこみ後、角を軽く折り曲げるとより安定します。



基本的な使い方

一般的なVマス式分包機と同様に作業します。

1. 必要な包数分の薬袋をセットします。（セット方法は前ページを参照）
2. 1包～14包の場合はVマスに包数セパレーターをセットしてください（15包の場合は使用しません）。
包数セパレーターはVマスの目安線に合わせてセットし、クリップで固定してください。
3. あらかじめ必要量を計量した生薬を1種類ずつVマスにまいてへらでならします。
へらはVマスと平行に横向きにならしていくのがコツです。
4. Vマスを両手で作動させ、1生薬ずつ薬袋に落としていきます。
生薬が薬袋の底まで落ちないと、ロート部分につまることがあります。
薬袋をゆするなどして薬袋の底にしっかり生薬を落としてください。
5. すべての生薬を薬袋に落としたら、薬袋をロートカセットから取り外し、分包作業の完了です。

※大黄、附子など、舟で煎じ薬を作る時に個別に量り別けるものはVマスを使用せずに個別に量って薬袋に投入されることをおすすめします。（本機の試験では作業精度によりますが±0.2gの分割誤差が出ることがわかっています）
竜眼肉など、形状的にVマスでの分割が困難なものも、同様に個別に薬袋に投入してください。
事前に個別秤量した生薬を薬袋に投入し、その後に本機を用いて他の生薬を分包することができます。



包数セパレーターを使用して生薬をならした状態
フック使用（トキワ薬草パック）

背面のガイド線にそって、まっすぐにならすと、より均一に分包が可能です。

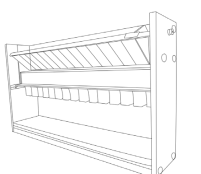


へらはこのように横向きにお使いになると均一にならしやすくなります。



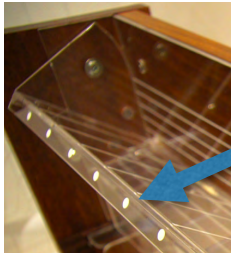
包数セパレーターを使用して生薬をならした状態
紙製薬袋で自立

からさわ薬局のWebサイトから製品の取り扱い方法を説明した動画を配信予定です。動画が公開されましたら、ご購入いただいたお客様に動画リンクのご案内を順次さしあげますので、ご参照ください。

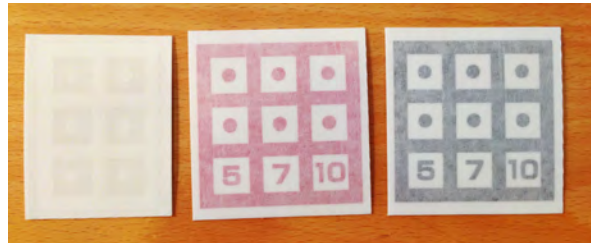


カスタマイズ用ステッカーのご使用方法

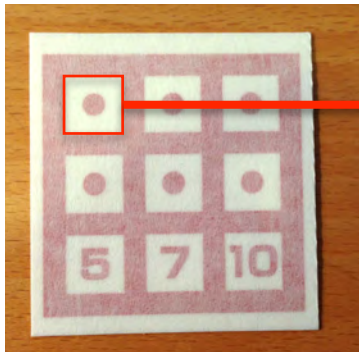
- 添付のカスタマイズ用ステッカーを利用して、お客様が使いやすいようにVマスの包数マーク（標準では白丸ステッカー）を変更することができます。



Vマスに標準で貼付してある白丸ステッカーをはがして、カスタマイズ用ステッカーを貼ってご使用になることができます。赤・黒・数字（5・7・10）を用意しています。



カスタマイズ用ステッカー
白丸（6個）
赤（赤丸6個+数字5・7・10）
黒（黒丸6個+数字5・7・10）



〈ステッカーの切り取りと貼付方法〉

- ご使用になりたいステッカーの周囲の四角い枠にそって切り取ります。裏紙と表面を保護している和紙ごと切り取ってください。
- 裏紙をはがし、位置をあわせて貼付します。
- 表面を保護している和紙をはがしてください。

お手入れ方法について

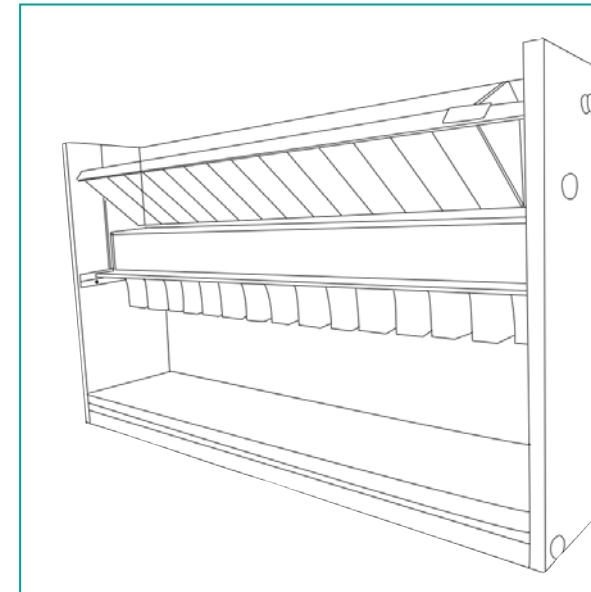
- Vマス部分は使用状況によって、汚れが生じることがあります。散剤用分包機をお持ちの場合は、分包機のクリーナーで付着物を吸引してください。クリーナーがない場合、やわらかい刷毛などを用いて付着物を払ってください。
- Vマス部分の汚れを拭き取る場合は、乾いたガーゼなど、やわらかい布をもちいて拭いてください。わずかに消毒用エタノールをしみこませて拭き取ると汚れが落ちやすくなりますが、ご使用前に十分に乾燥させてください。
- 製品の構造上、ロートカセットの枠組みとロートの隙間に、細かい生薬が挟まる場合があります。適宜、除去してください。
- ロートカセット部分は、分解清掃が可能です。汚れが気になったら、適宜分解して清掃してください。水洗いも可能です。洗浄する場合は中性洗剤を用い、熱いお湯などをかけると変形することがありますので、水を用いてください。洗浄後は、十分に自然乾燥させてから組み立ててご使用ください。ドライヤーなどの熱風をあてると変形する可能性があります。
- Vマス部分に関しては、お客様自身で分解はなさないでください。

困ったときは

- 本製品のご使用についてお困りのことがございましたら、1ページに記載のお問い合わせ先までご連絡ください。
- ご使用中に製品の破損や、部品の紛失に関しても、1ページに記載のお問い合わせ先までご連絡ください。破損に関しては状況に応じて対応をさせていただきます。破損状況がわかりやすいように、お写真などをメールに添付いただくと助かります。お客様ご自身で修理可能な場合、必要な部品のみ実費でお届けいたします。こちらでの修理作業が必要な場合は、ご相談の上、個別に対応をさせていただきます。
- 紛失部品は実費でご提供いたします。特にロートクリップは紛失にご注意ください。部品提供参考価格（2022年11月現在）

ロートクリップA	5個セット	950円（税抜/送料別）
ロートクリップB	2個セット	450円（税抜/送料別）
ロートカセット	1台	15,500円（税抜/送料別）

 ※部品代のお支払いは同封の郵便振替用紙をご利用ください（振込手数料無料）。
- その他、製品をご使用してお客様の環境にどうしても合わない部分などがありましたら、一度お問い合わせ先までご相談ください。なんらかのカスタマイズで解決できそうな事象に対しましては、可能な範囲で対応を検討いたします。



株式会社からさわ薬局

www.kanpo-karasawa.com
北海道札幌市中央区北4条西6丁目毎日札幌会館1階

About us and Back Story

旧北海道庁赤レンガ北向の自宅を改装して唐澤 俊郎が昭和30年に創業。街の薬屋から始まり、昭和40年代より各種漢方製剤の販売に注力。現在は二代目 唐澤 豪貴があとを継ぎ、本店を漢方専門薬局とし、札幌市中央区内で支店の処方せん調剤薬局（啓明店）も運営する。手動式生薬分包機は煎じ薬をもっと活用したいと考えていた唐澤のためにスタッフがホームセンターで調達した材料で試作したことに始まり、試作機1号はホームセンターの頭文字をとってHC-001とした。漢方仲間にこれを話したところ、欲しいとの要望があり、量産化に向けて総合アートセンター（株）翠彩堂をパートナーに迎え、製品化に向けての更なる改良を行う。製品版の前のプロトタイプがHC-002であり、製品版がHC-003となった。